

ウスゲチョウジタデ

Ludwigia epilobioides Maxim. subsp. *greatrexi* (H.Hara) P.H.Raven
アカバナ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】準絶滅危惧

選定理由

水田の乾田化や農薬の多用、湿地の減少により減少してきている。

分 布

本州（関東地方以西）、九州、琉球に分布。県内では若狭町、敦賀市、あわら市、南越前町、坂井市、福井市での記録がある。

種の特徴

水田（休耕田）や湿地に多い一年草。高さ30～70cmになる。茎は直立または斜上し、よく分枝する。全体に毛が多く、茎や葉には細毛がある。花期は8～10月、黄色い花が葉腋に一個ずつつく。花床に密生する白毛が特徴。

生育を脅かす要因

水田の乾田化、除草剤の使用、休耕田の管理放棄、遷移進行。

参考文献

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○					○		○			○		○				○

モクゲンジ

Koelreuteria paniculata Laxm.
ムクロジ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

本県での分布は沿岸部に限られ、個体数も少ない。絶滅が危惧されるので、今回新たに絶滅危惧Ⅱ類とした。

分 布

本州（日本海側）に分布する。県内では高浜町、おおい町、若狭町、越前町、福井市で確認されている。

種の特徴

落葉の小高木。葉は互生、長さ3～8cmの柄があり、羽状複葉。小葉は6～8対、卵形、長さ4～8cm、幅3～5cm。花期は7月、枝先に径1cmほどの黄色の花を多数つける。果実は洋紙質の袋状。種子は球形、径約7mm、黒色、数珠にする。

生育を脅かす要因

海岸開発、産地局限。

参考文献

福井県植物研究会（1999）、福井県樹木誌（2011）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○	○	○				○										○

フユザンショウ

Zanthoxylum armatum DC. var. *subtrifoliatum* (Franch.) Kitam.
ミカン科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域準絶滅危惧

【環境省カテゴリー】—

選定理由

生育地、個体数とも極めて少ない。

分 布

本州（関東地方以西）～九州に分布。県内では嶺北地方の一部及び嶺南地方の一部で確認されている。

種の特徴

低地の林内に生える常緑低木。刺はふつう対生ときに単生する。葉は3～7枚の小葉からなり、長さ5～15cm、葉軸には翼がある。小葉はほとんど無柄。5月、前年の枝にある側芽の先に長さ1.5～3cmの円錐花序を伸ばし、多くの小さな花を付ける。雌雄異株。

生育を脅かす要因

森林伐採等による生育環境の消失や悪化のほか、産地が限られていることによる。

参考文献

佐竹義輔ほか（1989a）、福井県自然保護課編（2004）
福井県植物研究会（1999）、福井県樹木誌（2011）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○	○	○			○	○										○